

2015.3.14 神奈川県立鶴見高等学校での防災研修報告

特定非営利活動法人 神奈川災害ボランティアネットワーク

3月14日（土） 神奈川県立鶴見高等学校において防災研修を実施

鶴見高校生 16名 三浦横須賀地区や近隣地区の高校生 26名 合計 42名参加

一般参加者、学校関係者を含め総勢 90名の参加者による防災研修でした。

宮城県立石巻西高等学校齋藤校長先生による災害を生き抜くお話や、自主的に避難できる高校生になっていただきたい事や、地域と顔の見える関係の構築推進や学校での取り組みの推進、高校生が率先して防災を考えて頂きたい事などのお話を頂きました。



日本はプレートが多くこのようななか、災害と災害の間を皆さんは生きている事を忘れないで下さい。とお話を頂きました。3Dメガネで立体的に見える地図を披露していただきました。



高校生が防災カレンダー制作にチャレンジ中です。日々のスケジュールと防災関連（学校や地域の防災計画などが一緒になっているといいですね）が一緒になり、ご自宅に貼り皆さんでいつも見て頂けるとありがたいですね。

神奈川県は三浦横須賀地区の高校生から、鶴見地区の高校生が参加

神奈川県教育委員会の方や学校関係者、鶴見高校の近隣自治会の方々も参加していただき一緒に防災の事を考え研修を行っていただきました。



鶴見高校生による準備作業も
ありがとうございました。
鶴見高校武道場での研修で
したが大勢の方のご参加で大変
研修も盛り上がりましたね。



フラメンコ復興支援キャラバン
隊（東北支援共同活動者）の皆
様も応援に駆け付けて頂き、研
修参加者皆さんとフラメンコを
踊る場面もありました。
ありがとうございました。

【植山理事長 下記 400 文字程度 感想の 原稿をお願いします。】

昨年の夏休み、鶴見高校の生徒 41 人が訪問した、石巻西高等学校から、斉藤校長先生をはじめ、生徒 10 名と引率の先生方 5 人をお迎えした。

鶴見高校以外にも近隣の高校生、近隣の町内会の方々も含めて、90 名以上で交流会を行うことが出来、石巻市出身者も含めた、フラメンコの舞踏などで、おおいに盛り上がった催しとなりました。

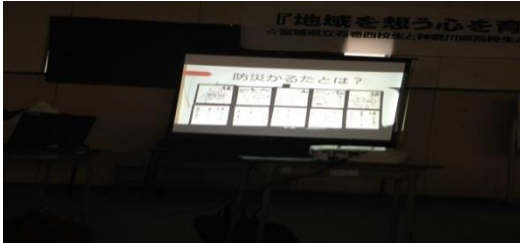
最初の斉藤校長先生の講演は、今回の東日本大震災をきっかけに「生徒から学んだ」「生徒から教えてもらった」教訓を軸に、感銘深いお話しをされ、あらためて、大きな犠牲を受けながらも、力強い復興への道筋を示していただきました。

その後、防災カレンダーや防災カルタづくりを、高校生の 6 グループと 1 つの町内グループで、話し合い、それぞれが発表しあい、交流を重ねることが出来ました。その中で、それぞれの高校生同士が、うちとけていく姿は、これからも各地で、お互いに「伝え、伝え合う」絆が、確かに強まる関係が結ばれることになったように感じました。ますます若者たちの交流が盛んになるように応援していきたいと願っています。

植山 利昭



鶴見高校の学校をあげてのご支援ありがとうございました。
当日ご参加いただきました、高校生、関係者の皆様ありがとうございました。



鶴見高校の生徒さんによる防災カルタの説明
参加者皆さんと防災カルタを（防災ゲーム）
制作しました。
参加者が作成した防災カルタの発表もありました。



【実行委員より】

- ・河西実行委員長（横浜災害ボランティア）

次代を担う「ユースの防災教育」は今一番必要な課題であることを再認識させられた。

- ・森 理事（秦野災害ボランティア）

防災に関する意識付けの方法としては、良い方法だと思います。

高松理事（NPO 法人都市防災研究会）丸理事（葉山災害ボランティア）鈴木久理事（平塚災害ボランティア）

この防災研修が今後も継続できる事を希望し、神奈川県内の高校生への（ユース）防災意識向上を育めたら幸いです。

主催 特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク

協賛 特定非営利活動法人よこはま・七つ星、特定非営利活動法人都市防災研究会

今後とも各方面からのご支援と、ご協力をお願いいたします。

防災研修実行委員 市原